

令和4年度 指定管理者 実績評価シート

No.	142		
施設名	乗鞍山麓五色ヶ原の森・殿下平総合交流ターミナル	担当課	環境政策推進課・観光課
		地域名	丹生川地域
指定管理者	五色ヶ原の森案内人の会		
		内線	2283・2209

1 施設の概要

施設所在地	高山市丹生川町池之俣249番地、高山市丹生川町久手471番地3		
設置目的	豊かな自然環境の保全、市民等の保健・休養等の促進、都市と農村との交流による地域活性化		
施設の概要	全体面積 904.69ha、歩道、避難路、烏帽子小屋(33.12㎡)、出会い小屋(50㎡)、岩魚見小屋(50㎡)、シラビソ小屋(33.12㎡)、仙人小屋(49.12㎡)、案内センター(殿下平総合交流ターミナル1階の一部 305.5㎡)		
公共施設等総合管理計画	施設のあり方	方針	継続 時期
			—
	乗鞍山麓五色ヶ原の森:引き続き行政による管理・運営を行う。(殿下平総合交流ターミナル:譲渡:中期)		

2 指定管理者制度の導入状況

制度の当初導入	平成 22 年 4 月	募集の方法	公募
現在の指定期間	令和 2 年度 ~ 令和 6 年度 (5 年間)		
利用料金制	有	評価区分	I(環境衛生・福祉・保健・体育・社会教育・農業・自然体験施設)

3 適正な管理に関する状況

管理職員の配置	
配置人員	常勤 非常勤 役員1人、契約社員・嘱託4人、パート・賃金31人

業務実施状況等の随時調査の実施状況及び結果

実施日	調査内容及び結果
6月10日	5月の大雨、6月の長雨後、歩道や避難路、管理道の被災状況を調査し、修繕について指示した。
9月29日	次年度に向けた、修繕箇所等の確認及びその他現状確認を行い、修繕計画を作成した。
随時	歩道や施設等を点検するとともに、代表者、森の案内人へのヒアリングや情報提供を頻繁に行い、必要な手続き等について指示した。

4 利用促進・サービス向上に関する状況

施設利用者の推移				
	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数 (人)	2,095	2,629	2,321	3,480
前年度増減比 (%)		25.5%	△11.7%	49.9%

モニタリング調査結果

方法	アンケート	方法	窓口に設置するほかツアー参加者に対して積極的に依頼	件数	1,429 件			
	その他の手法							
	意見交換会	森の案内人がツアー中に利用者から意見を聴き取り、情報共有						
アンケート結果(%)		満足	やや満足	普通	やや不満	不満	未記入	計
① ツアー満足度	56.9	21.9	13.6	2.0	0.2	5.4	100	
② 案内人の接客満足度	92.8	5.3	0.3		0.1	1.5	100	
③ 施設満足度	84.7	6.9	2.0	0.3		6.0	100	
利用者等からの要望・意見と対応		要望・意見			対応			
指定管理者に対する意見	①	案内人の接客態度、説明が素晴らしかった。			引き続き、資質向上に努める。			
	②	トイレや山小屋が綺麗で快適だった。			引き続き、施設の維持管理に努める。			
	③	美しい景観や自然が守られていた。			引き続き、景観保全に努める。			
市に対する意見	①	特になし						
	②							
	③							

自主事業の実施状況

実施内容	実績及び評価
ショートコース3コース、久手御越滝ショートコースのプレオープン及び営業延長、冬季ツアーの実施、クラフト体験教室の開催	久手御越滝ショートコースのプレオープンや冬季ツアーの実施により、通常の入山期間外においても、利用者を受け入れることで、リピーターの確保につながった。

業務計画における達成状況

実施目標	達成状況
モニタリング(600名以上)	1429人から回答
研修会の開催(年3回以上)	業務説明会、安全管理研修、冬ガイド研修等を実施
情報提供サービスの向上(ホームページ更新等)	予約システムの構築、SNSにより情報を発信

5 安定した管理能力に関する状況

人材育成の状況

実施内容	対象・回数など
案内人研修	案内人・7回
安全管理研修	案内人・3回
新人研修	新人案内人・2回

地域との連携・取り組み内容

取り組み	結果・成果
関係機関との自然環境学習の実施	県と市が連携した自然環境学習を実施した。
丹生川町内の旅館との連携	丹生川町の宿泊施設と連携し、宿泊割引を実施した。
関係団体との連携	民間事業者の方を講師に招き、案内人研修を開催した。

6 収支に関する状況(経費の縮減)

(単位:千円)

		平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	主な内容
収入	使用料	8,299	6,180	4,119	6,062	入山料
	指定管理料	16,871	16,769	18,179	16,944	
	その他					
収入合計		25,170	22,949	22,298	23,006	
支出	人件費	9,719	9,359	9,443	10,262	給与
	事務費	636	1,520	1,078	831	広告宣伝費
	管理費	11,896	11,215	11,212	12,235	修繕費
	事業費	1,581	278	600	644	保険料
	公租公課	1,140	31	3	1,037	消費税
	その他					
	精算金	79				
納入金						
支出合計		25,051	22,403	22,336	25,009	
指定管理業務収支		119	546	△ 38	△ 2,003	
自主事業収支		△ 202	802	32	95	
全体収支		△ 83	1,348	△ 6	△ 1,908	
[法人税]						

7 指定管理者の評価

項目	評価	前年	評価に対する内容
適正な管理(40)	b (30.0)	b	大雨等の被災による早急な修繕、高頻度の安全点検、緊急事態に備えた研修等、高い水準での安全管理体制が確立されている。また、コロナ対策では、マスク着用、消毒、検温の他、案内人の立ち位置の工夫等で感染防止の徹底を図っている。
利用促進・サービス向上(30)	b (22.5)	b	過去4年間で最も入山者が多かったことは、評価に値する。予約システムの構築や研修による案内人の質の向上など、利用者のニーズに即した対応について、モニタリング結果や利用者意見でも満足度が高く、評価できる。
安定した管理能力(20)	c+ (13.0)	b	令和4年度は、各所の小規模修繕や消費税の負担により赤字となったが、地元の宿泊施設と連携した宿泊割引の実施や国・県や市と連携した研修を行うなど、前向きに取り組んでいる。令和5年度も、持続的に安定した管理能力を身に付けるため、引き続き人材の確保・育成等に努めていきたい。
経費の縮減(10)	c+ (6.5)	b	令和4年度は小規模修繕が多数必要であったため赤字となっているが、予約システムの構築により予約事務が効率化されて経費の削減につなげる努力をしたことは評価できる。令和5年度以降、収支バランスを保つため、引き続き、経費削減による支出減少の取り組み等を続けていきたい。
	* (*)	*	
総合評価	B (72.0)	B	安全管理体制の確立や研修による案内人の質の向上、コロナ感染防止対策等、利用者のニーズに即した対応を実施している。今後も、人材の確保・育成や経費削減の取り組み等を続けていきたい。